



株主の皆様へ  
第79期  
事業報告書

自 平成27年 4月 1日  
至 平成28年 3月31日

森下仁丹株式会社



株主の皆様には平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの第79期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。よろしくご覧賜り、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長  
**駒村 純一**

## 事業の概況について

当連結会計年度におけるわが国の経済は、中国経済の減速や新興国の景気低迷への警戒感及び中東情勢への不安感など海外情勢の影響により、株価や為替といった金融市場の動向が不安定となりました。また個人消費についても実質賃金の伸び悩みから消費支出は足踏み状態にあり全体として景気は先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する健康関連業界も、健康意識の高まりが持続し、昨年4月からの新たな機能性表示食品制度が始まる等大きな変革期を迎えました。但し、異業種を含む大手企業の新規参入等による業界内の競合は激化しており、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しい状況下にあります。

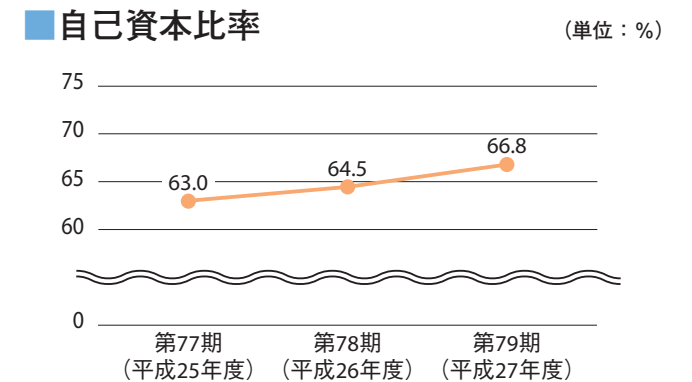
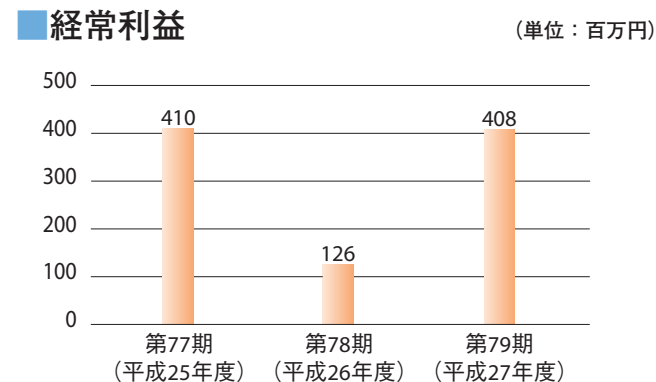
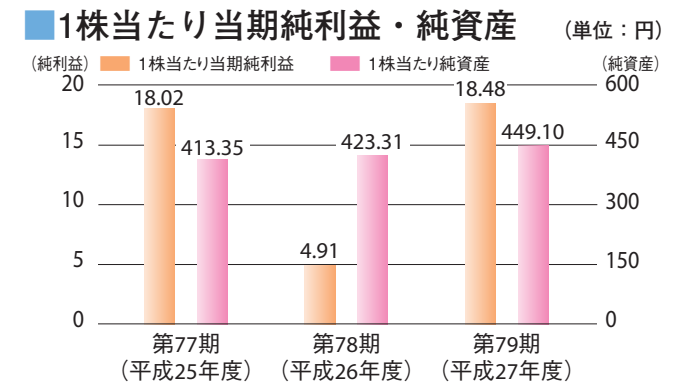
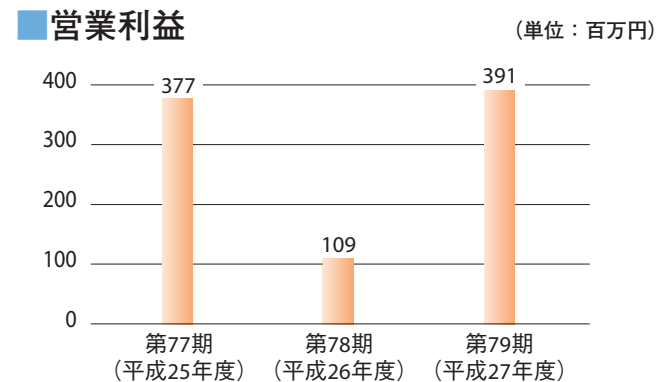
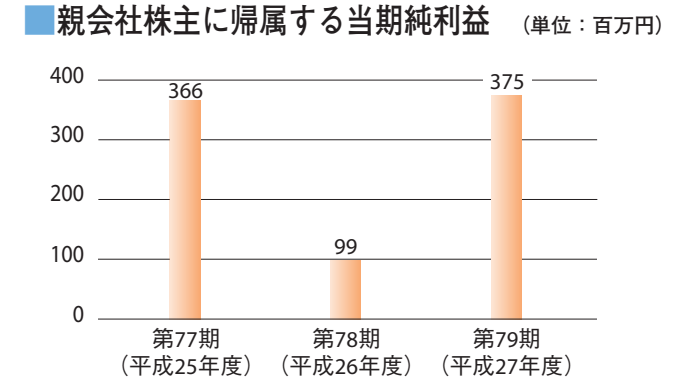
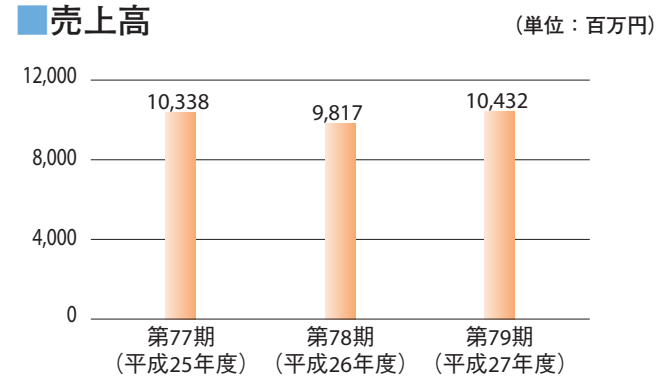
このような状況のなか、当社グループとしては、「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとして積極的な諸施策・諸活動を展開してまいりました。

その結果、当連結会計年度は、機能性表示食品「ヘルスエイド® シリーズ」の新発売を背景としたヘルスケア事業ならびにカプセル受託事業とも売上は好調に推移し、売上高は、10,432百万円（前年同期比6.3%増）と前年同期と比べ614百万円の増収となりました。

利益面においては、原価のコストダウンに注力した結果、売上総利益率の増加が大きく影響し、効果的なプロモーション活動など費用の効率化を図ったこともあり営業利益は、391百万円（前年同期比258.4%増）と前年同期と比べ282百万円の増益となりました。

また、営業外損益を加えた経常利益は、408百万円（前年同期比224.0%増）と前年同期と比べ282百万円の増益となりました。

さらには投資有価証券評価損63百万円の特別損失を加えた税金等調整前当期純利益は、344百万円と前年同期と比べ220百万円の増益となり、法人税等並びに法人税等調整額を加えた親会社株主に帰属する当期純利益は、375百万円（前年同期比276.7%増）と前年同期と比べ276百万円の増益となりました。



## ヘルスケア事業



## 「セルフメディケーション」の推進を目指して

創業者・森下博は、「飲みやすく、携帯・保存に便利な薬を作りたい」という想いで「仁丹」を開発しました。

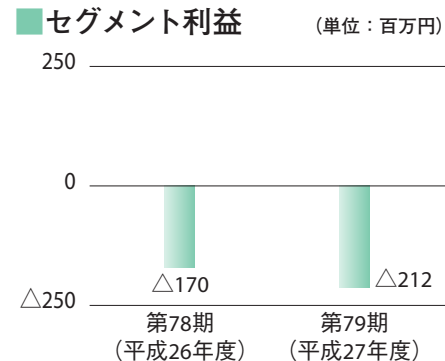
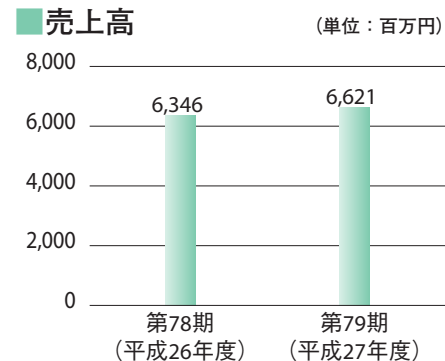
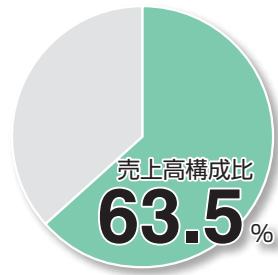
「健康とともに安心と安全をお届けする」この健康理念のもと、原料を厳選し、優良品を製造することを志とするその想いは今も受け継がれ、独自のカプセル技術とこだわりの品質の製品を、毎日健康ですごしたいと願う全ての皆様にお届けしています。

## ■当期の概況

当セグメントにおきましては、機能性表示食品「ヘルスイド® シリーズ」が順調に推移しており、その結果、売上高は、6,621百万円と前年同期と比べ275百万円の増収となりました。

損益面では、機能性表示食品のプロモーション活動の先行投資的な費用負担が影響し、当連結会計年度のセグメント損失は212百万円と前年同期と比べ41百万円の減益となりました。

なお、セグメント利益は、上期単独で△244百万円でしたが、下期単独では32百万円と黒転し、着実に利益体質への転換が進んでおります。



## カプセル受託事業

医薬品から食品、産業用まで進化し続ける  
シームレスカプセル技術

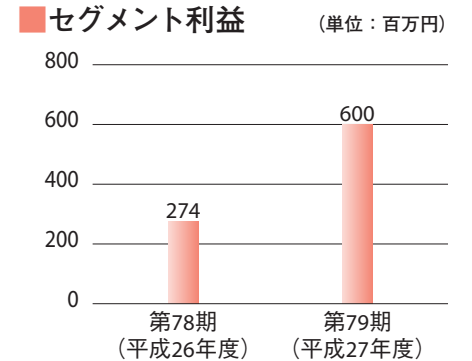
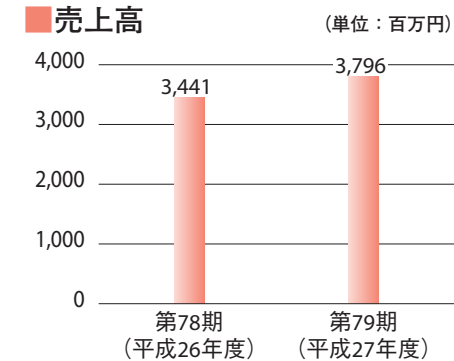
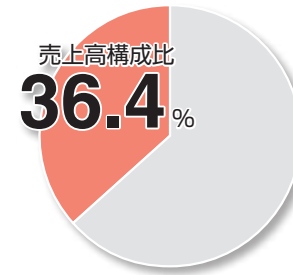
「液体の仁丹を作れないか」その思いから開発がはじまり、今では森下仁丹のコア技術として発展した「シームレスカプセル技術」。

粉末、液体、微生物などあらゆるものを包むことができ、また、皮膚の調整により、ドラッグデリバリーシステムを実現する医薬品から、食品、産業用まであらゆる分野への展開が可能です。

## ■当期の概況

当セグメントにおきましては、医薬品カプセルの受託は落ち込みましたが、フレーバーカプセルは引き続き順調に推移した結果、売上高は、3,796百万円と前年同期と比べ354百万円の増収となりました。

損益面では、コストダウン諸施策による原価率の改善等により、当連結会計年度のセグメント利益は、600百万円と前年同期と比べ326百万円の増益となりました。



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当 連 結 会 計 年 度 (平成28年3月31日現在)	前 連 結 会 計 年 度 (平成27年3月31日現在)
<b>資 産 の 部</b>		
流動資産	4,809	4,465
固定資産	8,858	8,887
有形固定資産	6,274	6,528
無形固定資産	216	251
投資その他の資産	2,367	2,106
資産合計	13,668	13,352
<b>負 債 の 部</b>		
流動負債	2,428	2,369
固定負債	2,105	2,371
負債合計	4,533	4,741
<b>純 資 産 の 部</b>		
株主資本	8,364	8,051
その他の包括利益累計額	770	560
純資産合計	9,134	8,611
負債・純資産合計	13,668	13,352

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
売上高	10,432	9,817
売上原価	4,912	4,811
売上総利益	5,519	5,005
販売費及び一般管理費	5,127	4,896
営業利益	391	109
営業外収益	37	40
営業外費用	20	23
経常利益	408	126
特別利益	—	2
特別損失	63	4
税金等調整前当期純利益	344	123
法人税、住民税及び事業税	74	30
法人税等調整額	△ 105	△ 6
当期純利益	375	99
親会社株主に帰属する当期純利益	375	99

連結株主資本等変動計算書 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計	
平成27年4月1日残高	3,537	963	3,686	△ 135	8,051	566	△ 6	560	8,611
<b>連結会計年度中の変動額</b>									
剰余金の配当			△ 61		△ 61				△ 61
親会社株主に帰属する当期純利益			375		375				375
自己株式の取得				△ 1	△ 1				△ 1
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						198	11	209	209
連結会計年度中の変動額合計			314	△ 1	313	198	11	209	523
平成28年3月31日残高	3,537	963	4,000	△ 137	8,364	765	4	770	9,134

貸借対照表

(単位：百万円)

	当 期 (平成28年3月31日現在)	前 期 (平成27年3月31日現在)
<b>資 産 の 部</b>		
流動資産	4,724	4,403
固定資産	8,984	9,011
有形固定資産	6,273	6,527
無形固定資産	215	250
投資その他の資産	2,495	2,234
資産合計	13,708	13,415
<b>負 債 の 部</b>		
流動負債	2,452	2,394
固定負債	2,109	2,364
負債合計	4,561	4,758
<b>純 資 産 の 部</b>		
株主資本	8,381	8,089
評価・換算差額等	765	566
純資産合計	9,146	8,656
負債・純資産合計	13,708	13,415

損益計算書

(単位：百万円)

	当 期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	前 期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
売上高	10,278	9,660
売上原価	4,911	4,820
売上総利益	5,366	4,840
販売費及び一般管理費	5,005	4,703
営業利益	360	137
営業外収益	41	60
営業外費用	20	24
経常利益	382	173
特別利益	—	2
特別損失	63	4
税引前当期純利益	318	171
法人税、住民税及び事業税	69	27
法人税等調整額	△ 105	△ 6
当期純利益	354	150

株主資本等変動計算書 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等			純資産合計
	資 本 金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	
		固定資産 圧縮積立金	繰越利益 剰余金						
平成27年4月1日残高	3,537	963	952	2,771	△135	8,089	566	566	8,656
<b>事業年度中の変動額</b>									
剰余金の配当				△ 61		△ 61			△ 61
固定資産圧縮積立金の積立			1	△ 1		—			—
固定資産圧縮積立金の取崩			△ 3	3		—			—
当期純利益				354		354			354
自己株式の取得					△ 1	△ 1			△ 1
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						—	198	198	198
事業年度中の変動額合計	—	—	△ 1	294	△ 1	292	198	198	490
平成28年3月31日残高	3,537	963	951	3,066	△137	8,381	765	765	9,146

TOPICS  
7

## 新製品のご紹介 【森下仁丹】 × 【ファンペップ】 が共同開発

～「食卓用除菌スプレー」・「マウスウォッシュ」 2016年5月10日（火）より新発売！～

当社は、大阪大学発ベンチャー企業である株式会社ファンペップ(本社:大阪府茨木市、代表取締役社長:平井 昭光)との共同開発品として、「PUREPEP(ピュアペップ)」を立ち上げ、「ピュアペップ 食卓用除菌スプレー」(価格:960円/税抜)と「ピュアペップ マウスウォッシュ」(価格:900円/税抜)を2016年5月10日(火)より通信販売や医科向けルートを中心に販売しています。

この度発売した「マウスウォッシュ」は、口中の汚れや臭い

をスッキリと落とし、口臭を防ぎます。昨今、口腔内の洗浄が口腔ケアとして注目されております。本商品は刺激が少なく、マイルドな味なので、お食事前でもマウスウォッシュの味残りを気にせずご使用いただけます。「食卓用除菌スプレー」は、食卓やデスクなど雑菌が増えやすい箇所にスプレーし、ティッシュや布でふき取ることで簡単に除菌することができる商品です。携帯サイズなので外食や宿泊時など外出先でもお手軽にご使用いただけます。



### マウスウォッシュ

気になるお口の汚れやにおいをスッキリ落とす！

- マイルドなミント味  
食前に使用しても食事の味に影響しにくい！
- お口をゆすいでネバつき、口臭を抑える！



【商品名】ピュアペップ マウスウォッシュ  
【希望小売価格】900円(税抜)  
【内容量】480ml



### 食卓用除菌スプレー

気になる箇所を簡単に除菌！

- 二度拭き不要  
ふきんや布でサッと一拭き！
- 携帯サイズ  
外出先へも気軽に持ち歩き可能！



【商品名】ピュアペップ 食卓用除菌スプレー  
【希望小売価格】960円(税抜)  
【内容量】100ml

TOPICS  
2

## 「第5回 高機能プラスチック展」に出展

～弊社新領域の粒子サイズカプセル&新技術の樹脂添加をご紹介～

当社は、天然・合成高分子樹脂を皮膜とするシームレスカプセル技術の可能性を、更なる異分野に広げることを目的とし、2016年4月6日(水)から8日(金)の三日間、東京ビッグサイトにて開催されました「第5回 高機能プラスチック展」(通称:プラスチック ジャパン)へ企業ブースを出展しました。当社ではこれまで難しいとされていた、射出成型等の樹脂の形成工程に練りこみ可能なカプセルの開発に成功しました。

出展ブースではカプセル化した物質の樹脂添加の可能性・当社として新領域の粒子サイズとなるカプセルについてご紹介しました。

また、本展示会は「第26回 ファインテック ジャパン」、「第7回 高機能フィルム展」、「第3回 高機能金属展」、「第1回 高機能セラミックス展」および「Photonix2016」との6展示会の同時開催で、幅広い分野のご来場者にシームレスカプセルの応用可能性をお伝えしました。

### <森下仁丹ブース出展内容>

弊社の「シームレスカプセル」は、粉末から液体、生きた微生物をも包むことができ、さらに皮膜には耐酸性、耐熱性、半透膜性など様々な機能を持たせることが可能です。本カプセル技術は既に医薬品や健康食品分野で広く活用されているほか、産業用途への応用として、樹脂硬化剤、農薬、香料等の放出制御カプセル、レアメタル等有用資源回収用カプセル、環境汚染物質の分解用カプセル等の研究・開発が進んでいます。出展ブースでは来場される皆様に「シームレスカプセル」のバイオニアとして、実際の応用サンプルの展示、新技術である樹脂添加等の最新情報をご紹介しました。



※ブースイメージ

TOPICS  
3

## 抗菌ペプチド「キュアペプチン®」を配合した商品の商業化について覚書を締結

～大阪大学発ベンチャー企業 (株) ファンペップの新素材～

当社は、大阪大学発のベンチャー企業、株式会社ファンペップ(大阪府茨木市/代表取締役社長:平井 昭光)と共に、抗菌ペプチド「キュアペプチン®」を配合した商品の商業化に関する覚書を締結しました。

「キュアペプチン®」は、大阪大学における基礎研究を基に見出され、ファンペップが一連の知的財産権を保有している抗菌活性を有する合成ペプチドの新素材です。

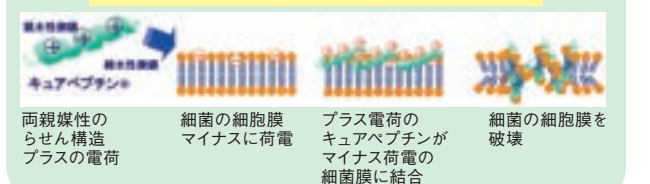
商品に「キュアペプチン®」を配合することで、より抗菌性が高く、かつ安全性に優れた商品を開発し、市場における差別化、また今後高齢化社会を迎えるにあたり社会貢献性の高い事業化を目指します。

当社は他社に先行してファンペップから「キュアペプチン®」の原料供給を受け、商品企画化を行う覚書を締結しました。今後も2社の強みを活かし、協業して企画開発を行ってまいります。

### 抗菌ペプチド「キュアペプチン®」とは

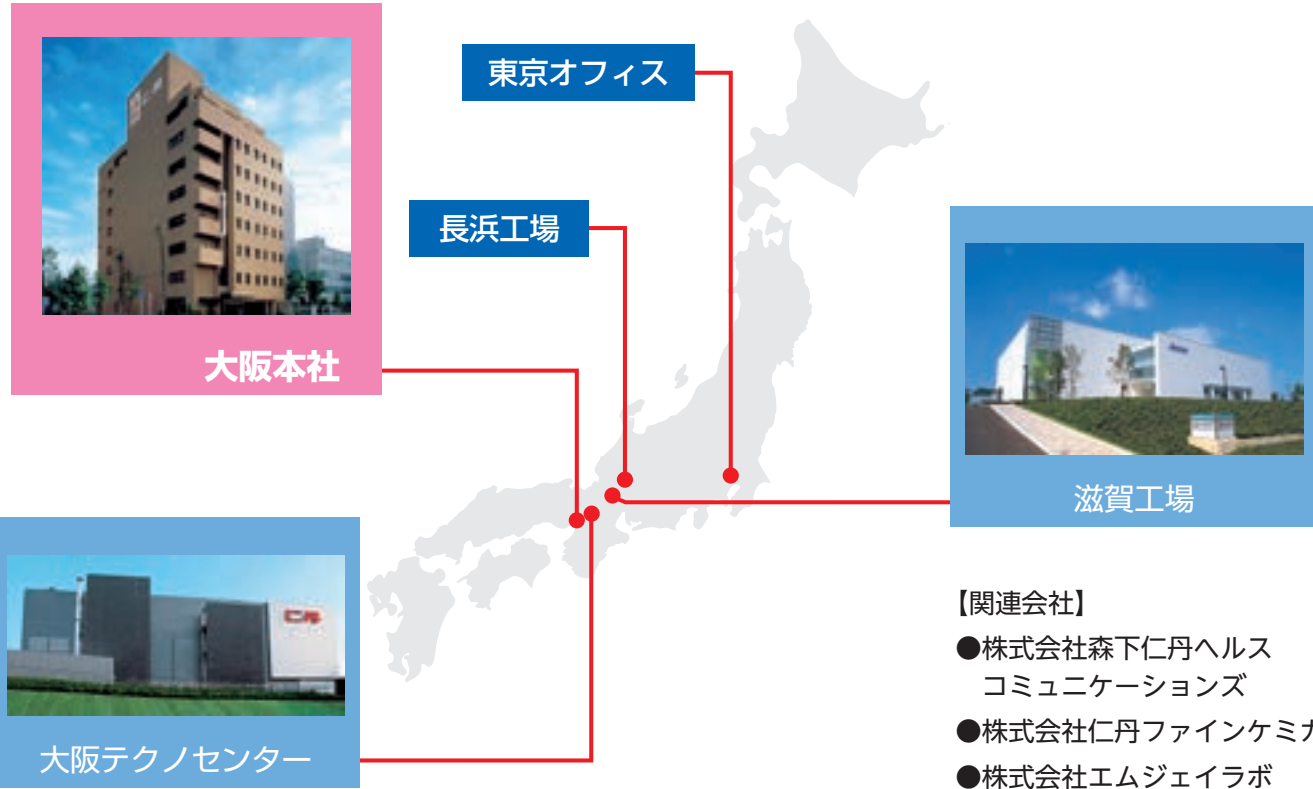
天然型アミノ酸で構成される合成ペプチドで、細菌や真菌などに対して幅広い抗菌スペクトルを有しており、大腸菌、緑膿菌、アクネ菌、黒カビや歯周病菌などにも少量で効果を発揮します。また院内感染等で大きな問題になっているMRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)や多剤耐性アシネトバクターなどの薬剤耐性菌にも野生型と同等の抗菌作用を発揮し、かつ薬剤耐性菌へと変異させるリスクが少ないとされているため、抗菌・除菌機能が必要な幅広い商品に応用する事が可能です。安全性においても少量で効果を発揮することができ、皮膚組織への悪影響が少ないことも特徴です。

### 抗菌ペプチド「キュアペプチン®」の抗菌活性



商号 森下仁丹株式会社 MORISHITA JINTAN CO., LTD.  
 資本金 35億3,740万円  
 事業の内容 医薬品、医薬部外品、医療用具、化粧品、食品および雑貨等の製造販売  
 事業所および工場

本社 大阪市中央区玉造一丁目2番40号 電話(06)6761-1131(代表)  
 大阪テクノセンター 大阪府枚方市津田山手二丁目11番1号 電話(072)800-1040  
 滋賀工場 滋賀県犬上郡多賀町大字四手諏訪960番地12 電話(0749)48-7370  
 長浜工場 滋賀県長浜市小野寺町字下寺70番7 電話(0749)74-8500  
 東京オフィス 東京都千代田区神田富山町10番地2 アセンド神田ビル6F 電話(03)6206-8138

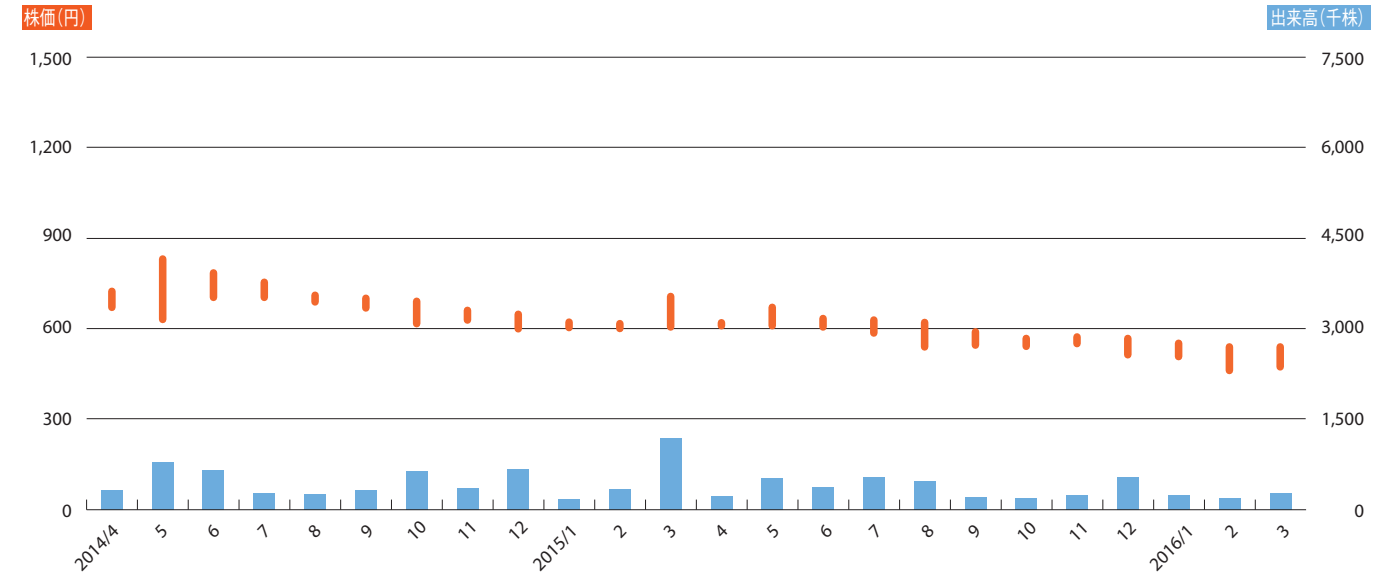


役員

代表取締役社長	駒村純一	監査役	澤田 侑己
取締役名誉会長	森下美恵子	監査役	石原真弓
取締役	上村秀人	常務執行役員	目黒一夫
取締役	齋藤洋一	常務執行役員	森田真司
取締役	森下雄司	執行役員	表 匡聡
監査役(常勤)	高田真一		

(注) 1. 取締役のうち齋藤洋一氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
 2. 監査役のうち澤田侑己、石原真弓の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株価および出来高推移



# 株主メモ

事業年度末日 3月31日

期末配当金  
受領株主確定日 3月31日

(中間配当を行う場合 毎年9月30日)

定時株主総会 毎年6月

公告の方法 電子公告 (<http://www.jintan.co.jp>)

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告により行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

金融商品取引所 株式会社東京証券取引所 市場第二部

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
特別口座口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部  
電話(通話料無料) 0120-094-777

- 【ご注意】
1. 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
  2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
  3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【ご案内】 少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて  
新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。  
ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。  
NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

## 当社ホームページのご案内

当社WEBサイトで各種情報を公開しております。  
是非一度ご覧ください。

<http://www.jintan.co.jp>



▲ トップページ



▲ IR情報